

旭川高専の教員が携わる校務内容の概要

現在、わが国の高等教育機関においては大きな変革の波が押し寄せており、本校もその只中にいて、新たな生まれ変わりを果たすべく全校あげて取り組んでいます。

高専は、その教育目標や学生の年齢層（本科：16～20 歳，専攻科：21～22 歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、旭川高専教員の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。

（１） 授業

教員は、本科における講義、実験実習や卒業研究指導、及び専攻科の講義や実験実習などを行います。その他、定期試験や成績不振学生に対する特別指導も行います。また、教員相互に行う授業観察などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

（２） 卒業研究・特別研究指導

卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち、また、教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目で、よりいっそう教員の指導力が要求されます。また、専攻科学生を担当し特別研究指導も行います。さらに、研究成果をベースに学位授与機構への申請手続きなども、担当教員が指導します。

（３） 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながるものが期待されています。

（４） 学級担任

教員は学級担任を担当することもあります。学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、高等学校と同様に、教室清掃の指導がありますし、体育祭や高専祭など各種行事での指導、学生への個人面接や保護者との懇談なども重要な職務となっています。また、4年生については見学旅行の引率指導、5年生については就職・進学の見学指導も行います。

（５） 各種委員会・会議

本校には、教務委員会、学生委員会、寮務委員会等の各種委員会があります。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。委員会に所属した場合には、多岐にわたる仕事をこなすことが求められます。その他、定期的に学科会議や教員会議等が行われます。情報交換や学校運営に対する意見の集約等を行う重要なものとなっています。

（６） クラブ顧問

クラブ顧問としての日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。

（７） 学生寮の宿日直

本校では、学生寮の宿直が割り当てられます。女子寮も設置されており女性教員による巡回もあります。男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な教育業務の一つです。

（８） 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。